



四日市羽津医療センター地域医療連携室広報

すずらん通信



Vol.83(2023.2)

糖尿病センター（四日市羽津医療センター）のご案内

糖尿病センター

当院では2006年に糖尿病センターを開設し、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士などよりなる糖尿病ケアチームを中心に専門的な糖尿病診療を行っています。外来診療では、透析予防指導、在宅療養指導などの療養支援やフットケア、栄養相談なども合わせて総合的な診療を行っています。また、CGM（持続血糖測定モニター）外来や、インスリンポンプ治療も積極的に施行しております。入院治療は、糖尿病ケトアシドーシス（DKA）や高血糖高浸透圧症候群などでの緊急入院、糖尿病教育入院、血糖コントロール入院、また、甲状腺・副腎、下垂体疾患など内分泌疾患全般についての負荷試験や精査加療目的での入院も行なっております。

【糖尿病ケアチーム】



【糖尿病教育入院2週間コース】

コロナ禍でも病棟での感染対策を徹底し、「糖尿病教育入院」の受け入れを継続してきました。糖尿病の治療は、患者さん自身が生活の中で“考え”“実行”することが求められます。そのため、入院中には様々な合併症検査を行い、今の病状にあった治療の選択や自分の体で起きている事を医師から分かりやすく説明します。自分の病気を知って頂き、どうすれば糖尿病をコントロールできるのか、具体的な方法を見つけることが重要となります。当院では医師をはじめ各専門のコメディカルが“患者さんそれぞれに合った食事・運動・薬物療法を共に見つけていくための入院支援”に力を入れています。

【外来加療】

近年、糖尿病新薬が多数発売され患者さんの病態や生活様式に合わせた治療をご提案できるようになりました。血糖測定器においては、血糖値日内変動が分かるCGM（持続皮下血糖測定システム）を導入しており、近隣開業医の先生にも病診検査としてご利用頂けます。

【はづDMネット】

定期的に糖尿病に関する最新情報の配信や治療の難渋事例をカンファレンスするなど勉強会を開催しています。ご希望のテーマや事例検討がございましたら「すずらん」へご連絡下さい。

当院の糖尿病センター最新治療のご紹介

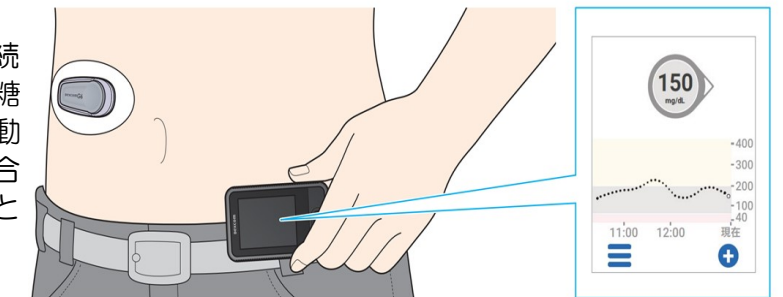
【糖尿病合併症検査：病診連携のご紹介】

高血糖が長期化することで様々な合併症が心配されますが、自覚症状が乏しく発見されにくい特徴があります。糖尿病は“検査の病気”とも言われ、定期的な合併症検査をお勧めしています。

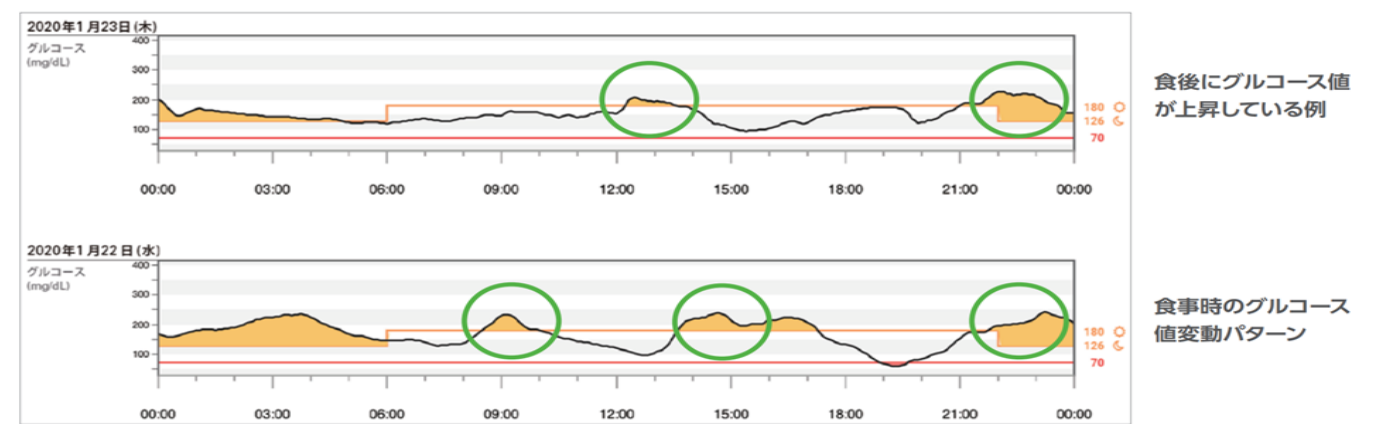
- 動脈硬化精査：頸動脈エコー、心エコー、下肢エコー、血圧・脈波検査（ABI-PWV）
- 神経障害検査：
 - フットケア：足病変予防のために看護師が足のケアを行い、セルフケアについて説明いたします。
※受診が必要となります。糖尿病内科（要：紹介状）へご紹介ください。
- 栄養相談：かかりつけ医の先生方から依頼のあった糖尿病患者さんにお食事の調理や食べ方の工夫、その他、食に関わるご相談をお受けしています。
※診療情報提供書（栄養食事指導用）をご記入の上、すずらんまでご連絡下さい。

【CGM：持続皮下血糖測定システム】 予約制 火曜日 14:00~15:00

患者さんの腹部にセンサーを装着し、皮下の間質液中のグルコース濃度を連続測定できるシステムです。24時間の血糖変動を把握でき、最高10日間の日内変動などを解析し、患者さんのパターンに合わせた治療管理や患者指導に活かすことができます。



CGM外来を希望される患者さんには、センサー装着と脱着に2度の受診していただき、医師の解析結果をクリニックへお返事致します。



グルコースモニタシステム DexcomG6 テルモHPより引用



四日市羽津医療センター 地域医療連携室 すずらん

〒510-0016 四日市市羽津山町10-8 病院代表TEL：059-331-2000

すずらん直通TEL：059-331-6003 すずらん直通FAX：059-331-6004

